

Ubuntu 対応版 Hinemos エージェント インストールマニュアル

1 はじめに

本マニュアルでは、Ubuntu 対応版 Hinemos エージェントのインストール手順と設定方法について説明します。

なお、基本的なインストール手順は Hinemos ver.5.0 インストールマニュアル 第1版に沿っていますので、そちらをご参照ください。本マニュアルでは、Ubuntu 対応版 Hinemos エージェントに固有の情報についてのみ記載しています。

2 動作環境

Hinemos エージェント動作 OS :

- Ubuntu 12.04 LTS (32bit)
- Ubuntu 12.04 LTS (64bit)
- Ubuntu 14.04 LTS (32bit)
- Ubuntu 14.04 LTS (64bit)

3 前提条件 (エージェントサーバ)

Ubuntu 対応版 Hinemos エージェントをインストールするサーバは、下記の OS パッケージが事前にインストールされていることが前提条件となります。

- openssh-server
- openjdk-6-jre-headless または openjdk-7-jre-headless
- unzip
- snmpd

4 Hinemos エージェントのインストール

Ubuntu 対応版 Hinemos エージェントのインストール手順を示します。

4.1 ファイルの展開

hinemos_agent-5.0.0_ubuntu.tar.gzを適当なディレクトリに解凍します。

(解凍先ディレクトリを”/tmp”として解説していきます。別のディレクトリで作業する場合は適宜読み替えてください。)

1. root ユーザで、hinemos_agent-5.0.0_ubuntu.tar.gz を/tmp ディレクトリに展開します。

```
# cd /tmp
# tar -zxvf hinemos_agent-5.0.0_ubuntu.tar.gz
```

/tmp ディレクトリ直下に、Hinemos_Agent-5.0.0_Ubuntu ディレクトリが作成されます。

2. 解凍された Hinemos_Agent-5.0.0_Ubuntu ディレクトリに移動します。

```
# cd Hinemos_Agent-5.0.0_Ubuntu
```

4.2 インストーラの実行(インストール)

インストーラでは以下の処理が行なわれます。

- snmpd のパッケージのチェック
- snmpd の設定ファイル(snmpd.conf)の変更
- 接続先マネージャの設定
- rsyslog/syslogd の設定と再起動
- 必要なファイルのコピー

1. root ユーザで、agent_installer_JP.sh を実行します。

```
# ./agent_installer_JP.sh
```

メニューが表示されます。

```
-----  
Welcome to the installation for Hinemos Agent  
Version 5.0.0  
  
Copyright (C) 2015 NTT DATA Corporation  
-----  
  
実行ユーザの確認中... [OK]  
  
OpenJDK の確認中...  
  openjdk-6-jre-headless... [OK]  
  openjdk-7-jre-headless... [OK]  
[OK]  
  
--- 実行する項目を選択してください ---  
  1) Hinemos エージェントのインストール  
  2) Hinemos エージェントのアンインストール  
  9) インストーラを終了する  
  
==>
```

2. プロンプトに“1”を入力します。

```
==> 1
```

3. インストール開始の確認メッセージが表示されますので、“Y”を入力します。

```
Hinemosエージェントのインストールを開始します。よろしいですか？(Y/N デフォルト:Y) :Y
```

4. インストールディレクトリの確認を求められます。

インストールするエージェントの識別子を指定することが可能です。

同一メジャーバージョンであれば異なる識別子を指定することで 1 台の監視対象ノードに複数の Hinemos エージェントをインストールすることが可能です。

(識別子には半角英数 “-” “_” のみを利用してください。)

なお、複製スクリプトを使用して、エージェントの複製を作成することも可能です。

詳細は、「Hinemos ver.5.0 インストールマニュアル 第1版 6.5 Linux 版エー

エ

ントを複数起動する(P.47)」をご参照ください

※ Linux 版エージェントの手順ですが、Ubuntu 対応版も手順は同じです。

```
インストールディレクトリは/opt/hinemos_agentでよろしいですか? (Y/N デフォルト:Y) :
```

“Y” を入力した場合

```
インストールディレクトリは/opt/hinemos_agentでよろしいですか? (Y/N デフォルト:Y) :Y  
  
インストールディレクトリ /opt/hinemos_agent の確認中...  
インストールディレクトリ /opt/hinemos_agent を作成しました。
```

“N” を入力した場合 (識別子として “1” を指定した場合)

```
インストールディレクトリは/opt/hinemos_agentでよろしいですか? (Y/N デフォルト:Y) : N  
インストールディレクトリを識別するIDを入力してください。 : 1  
/opt/hinemos_agent_1でよろしいですか? (Y/N デフォルト:Y) : Y  
  
インストールディレクトリ /opt/hinemos_agent_1 の確認中...  
インストールディレクトリ /opt/hinemos_agent_1 を作成しました。
```

以下のメッセージが表示されます。

```
パッケージの確認中...
  libsnmp-base... [OK]
  snmpd... [OK]
```

(snmpd がインストールされていない場合)

snmpd がインストールされていない場合は、依存する機能(ノード自動登録、リソース/プロセス/SNMP 監視)が利用できません。

Hinemos エージェントをインストールした後に不足しているパッケージをインストールすることで、上記の機能を利用できるようになります。インストールを継続する場合は“Y”を入力します。

5. 接続先 Hinemos マネージャの入力を求められます。

マネージャサーバのホスト名または、IP アドレスを入力します。続けて必要な機能のインストールが実施されます。

```
HinemosマネージャのIPアドレスを入力してください。
IPv6の場合は、IPアドレスの前後に[]を入れてください。 : 192.168.0.1
192.168.0.1 でよろしいでしょうか?(Y/N デフォルト:Y) : Y
```

以下のメッセージが表示されます。

```
必要なファイルのコピー実行中... [OK]

設定ファイル(hinemos_agent.cfg, Agent.properties, log4j.properties)の生成中...
```

6. 利用する JRE が表示されます。

Hinemosエージェントが以下のJREを利用するよう、設定します。

```
java version "1.7.0_79"
```

```
OpenJDK Runtime Environment (IcedTea 2.5.5) (7u79-2.5.5-0ubuntu0.14.04.2)
```

```
OpenJDK 64-Bit Server VM (build 24.79-b02, mixed mode)
```

Hinemosエージェントが利用するJREを変更したい場合は、`hinemos_agent.cfg`を変更して下さい。

[OK]

設定ファイルの生成中...

[OK]

7. Hinemos エージェントのサービススクリプトの配置について確認を求められます。

```
/etc/init.d/にHinemosエージェントのサービススクリプトを配置します。よろしいですか？ (Y/N デフォルト:Y) :Y
```

以下のメッセージが表示されます。

```
Adding system startup for /etc/init.d/hinemos_agent ...
/etc/rc0.d/K20hinemos_agent -> ../init.d/hinemos_agent
/etc/rc1.d/K20hinemos_agent -> ../init.d/hinemos_agent
/etc/rc6.d/K20hinemos_agent -> ../init.d/hinemos_agent
/etc/rc2.d/S20hinemos_agent -> ../init.d/hinemos_agent
/etc/rc3.d/S20hinemos_agent -> ../init.d/hinemos_agent
/etc/rc4.d/S20hinemos_agent -> ../init.d/hinemos_agent
/etc/rc5.d/S20hinemos_agent -> ../init.d/hinemos_agent
サービススクリプトを配置しました。
```

8. 追加された rsyslog(syslog)の設定ファイルが表示されます。

```
/etc/rsyslog.d に設定ファイルを配置しました。: /etc/rsyslog.d/rsyslog_hinemos_agent.conf
```

以下のように出力され、再度メニューが表示されればエージェントのインストールは完了です。

```
Hinemosエージェントのインストールが完了しました。
```

9. インストーラのメニューが表示されますので、プロンプトに“9”を入力し、インストーラを終了します。

```
--- 実行する項目を選択してください ---  
1) Hinemosエージェントのインストール  
2) Hinemosエージェントのアンインストール  
9) インストーラを終了する  
  
==> 9
```

以下のメッセージが表示されます。

```
インストーラを終了します。
```

以上で、Ubuntu 対応版 Hinemos エージェントのインストールは終了です。

4.3 インストーラの実行(引数インストール)

Ubuntu 対応版 Hinemos エージェントは、インストールスクリプト実行時に引数を指定することにより、非対話形式でインストールを実行することができます。

インストール時に指定可能な引数は、以下となります。

表 4-1 インストール時に指定可能な引数

引数	説明	必須
-i	エージェントを引数インストールする際に指定	○
-m ipaddress	Hinemos マネージャの IP/ホスト名を指定	○
-d agentid	agentid Hinemos エージェントの ID を指定	
-s	Hinemos エージェントのサービススクリプトを配置する場合に指定	

なお、引数を指定しない場合は、対話形式のインストールが開始します。対話形式のインストールにつきましては、「4.2 インストーラの実行 (インストール)」をご確認ください。

(例 1)

エージェントインストール時に、エージェントの接続先マネージャのホスト名または、IP アドレス(例：192.168.0.1)を引数指定する場合
(インストールする Hinemos エージェントの ID を指定しない場合、/opt/hinemos_agent/ にエージェントがインストールされます)

```
# ./agent_installer_JP.sh -i -m 192.168.0.1
```

(例 2)

エージェントインストール時に、エージェントの接続先マネージャのホスト名または、IP アドレス(例：192.168.0.1)、エージェントの ID(例：1)、サービススクリプトの配置を引数指定する場合

(インストールする Hinemos エージェントの ID として、1 を指定した場合、/opt/hinemos_agent_1/ にエージェントがインストールされます)

```
# ./agent_installer_JP.sh -i -m 192.168.0.1 -d 1 -s
```


5 Hinemos エージェントのサービス化

インストール時に、サービス起動スクリプトを自動的に配置するよう設定することが可能です。また、サービス起動スクリプトを自動的に配置した場合には、OS 起動時に自動的にサービスが起動するよう、併せて設定されます。

6 Hinemos エージェントのアンインストール

Ubuntu 対応版 Hinemos エージェントのアンインストールは、以下の手順で行います。

1. Hinemos エージェントが起動している場合は、停止します。
停止の手順は、「Hinemos ver.5.0 インストールマニュアル 第1版 6.2.3 Hinemos エージェントの停止(P.45)」をご参照ください。
2. スクリプト `agent_installer_JP.sh` を実行します。
(インストールスクリプトでアンインストールを行ないます)

6.1 インストーラの実行(アンインストール)

アンインストールでは以下の処理が行われます。

- Hinemos エージェントの削除
- `rsyslog/syslogd` の設定ファイルの無効化

1. root ユーザで、`agent_installer_JP.sh` を実行します。

```
# ./agent_installer_JP.sh
```

メニューが表示されます。

```
-----  
Welcome to the installation for Hinemos Agent  
Version 5.0.0  
  
Copyright (C) 2015 NTT DATA Corporation  
-----  
  
実行ユーザの確認中... [OK]  
  
OpenJDKの確認中...  
openjdk-6-jre-headless... [OK]  
openjdk-7-jre-headless... [OK]  
[OK]  
  
--- 実行する項目を選択してください ---  
1) Hinemos エージェントのインストール  
2) Hinemos エージェントのアンインストール  
9) インストーラを終了する  
  
==>
```

2. プロンプトに“2”を入力します。

```
==> 2
```

3. アンインストール開始の確認メッセージが表示されますので、“Y”を入力します。

```
Hinemosエージェントのアンインストールを開始します。よろしいですか？(Y/N デフォルト:Y) :Y
```

4. アンインストールするディレクトリを入力します。

Hinemosエージェントは下記のディレクトリにインストールされています。

```
/opt/hinemos_agent
```

アンインストールするディレクトリを入力してください。

```
/opt/hinemos_agent
```

以下のメッセージが表示されますので、問題がなければ“Y”を入力します。

```
インストールディレクトリ /opt/hinemos_agent の確認中...
```

```
Hinemosエージェントの状態を確認中...
```

```
インストールディレクトリ /opt/hinemos_agent を削除します。よろしいですか? (Y/N デフォルト:Y) :Y
```

以下のメッセージが表示されます。

```
インストールディレクトリ /opt/hinemos_agent を削除しました。
```

5. rsyslog(syslog)の設定をインストール前に戻します。

syslogデーモンの設定ファイルをインストール時に戻します。

```
/etc/rsyslog.conf を変更しました。
```

アンインストール直前の設定は、次のファイル名にバックアップしています。 :

```
/etc/rsyslog.conf.saved_YYYYMMDD-hhmmss
```

```
/etc/rsyslog.d の設定ファイルを削除しました。
```

アンインストール直前の設定は、次のファイル名 にバックアップしています。 :

```
/etc/rsyslog.d/rsyslog_hinemos_agent.conf.saved_ YYYYMMDD-hhmmss
```

続いて、以下のようなメッセージが表示されれば、アンインストールは完了です。

```
Hinemosエージェントのアンインストールが完了しました。  
インストールドキュメントに従ってsnmpd.confの設定を元に戻してください。
```

以下のメッセージが表示されます。

```
インストーラを終了します。
```

6. インストーラのメニューが表示されますので、プロンプトに“9”を入力し、インストーラを終了します。

```
--- 実行する項目を選択してください ---  
1) Hinemosエージェントのインストール  
2) Hinemosエージェントのアンインストール  
9) インストーラを終了する  
  
==> 9
```

以下のメッセージが表示されます。

```
インストーラを終了します。
```

以上で、Ubuntu 対応版 Hinemos エージェントのアンインストールは終了です。

注) 以下の設定は Hinemos エージェント以外でも使用されている可能性があるため、アンインストーラでは修正しません。

• /etc/snmp/snmpd.conf ファイルの設定

/etc/snmp/snmpd.conf に Hinemos エージェントインストーラが追記した箇所は下記の通りです。

```
view systemonly included .1.3.6.1
# disk / 10000
# disk /var 10000
```

6.2 インストーラの実行(引数アンインストール)

Ubuntu 対応版 Hinemos エージェントは、インストールスクリプト実行時に引数を指定することにより、非対話形式でアンインストールを実行することが出来ます。アンインストール時に指定可能な引数は、以下となります。

表 6-1 インストール時に指定可能な引数

引数	説明	必須
-u	エージェントを引数アンインストールする際に指定	○
-d agentid	Hinemos エージェントの ID を指定	

なお、引数を指定しない場合は、対話形式のアンインストールが開始します。対話形式のアンインストールにつきましては、「6.1 インストーラの実行 (アンインストール)」をご確認ください。

(例 1)

エージェントアンインストールを引数指定し、エージェントをアンインストールする場合

(アンインストールする Hinemos エージェントの ID を指定しない場合、
/opt/hinemos_agent/にインストールされたエージェントがアンインストールされます)

```
# ./agent_installer_JP.sh -u
```

(例 2)

エージェントアンインストール時に、エージェントの ID(例: 1)を指定し、エージェントをアンインストールする場合

(アンインストールする Hinemos エージェントの ID として、1 を指定した場合、
/opt/hinemos_agent_1/ディレクトリにインストールされたエージェントがアンインストールされます)

```
# ./agent_installer_JP.sh -u -d 1
```

7 Hinemos エージェントのサービス解除

アンインストール時に、Hinemos エージェントのサービス起動スクリプトを自動的に解除します。

8 補足

8.1 エージェント側 OS の snmpd の設定について

Ubuntu 12.04 LTS および Ubuntu 14.04 LTS の snmpd パッケージのデフォルトの設定では、外部からの SNMP 要求を待ち受けしない設定になっています。

• /etc/snmp/snmpd.conf

```
~省略~  
# Listen for connections from the local system only  
agentAddress udp:127.0.0.1:161  
~省略~
```

ご利用の環境のセキュリティポリシーに従い、上記の箇所を適宜修正してください。